

現実を観よ

「信じることには偽りが多く、疑うことに真理が多い。世間を見渡せば、愚かな人は人の言葉を信じ、書を感じ（映像を信じ）、神仏を信じ、迷信を信じている。人間社会にある真理の多寡を調べれば、正しいことが多いとはとても言えない。真理が少ないなら、偽りが多いことになる。つまり、人は何かを信じるとき、多

くは偽りを信じているのだ。人間の世界が進歩し真理に到達するためには、異説を出し論争するしかないのです。

「学問のすすめ」十五編

現代のような世界的な転換期においては常識を疑い、多数の考え方や行動は誤りで、成功や幸福には結びつかないのです。

- ① 疑う能力を高める。
 - ② 本質を捉える判断基準。
 - ③ 取捨選択の視野・能力を高める。
- ことが不可欠になります。

多くが間違っているのは、人が、制度です。よって仕組み自体の改善を常に検討しなければならぬ。企業も変わりない。

政権と財務官僚が創り出した財政危機、世界的規模のグローバル化、持つもの

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2016年5月30日(月) NO 391
 地域から明るい未来を作ろう

仕事を通じ顧客と従業員、仲間幸せに社会に貢献する

と持たざる者との格差拡大、近隣諸国の覇権主義、国際マーケットで次々と日本企業が敗北し、閉塞感や不安が高まっています。

言えることは国に全く依存

できない状況です。歴史でいえば戦後の70年は「江戸時代」であった。国に依存して、お任せで個人が生きていける時代は崩壊しています。そんな時世はすでに終わっています。

日本が世界に飛翔できる憲法9条を、なぜアベ政権は改正しなければならぬのでしょうか。

果たして勝者が敗者に押し付けた憲法でしょうか。問

題視する人のパワーゲーム、その目的は？。2009年4月プラハ演説でオバマ大統領のダブルスタンダードの核廃絶でしょう。日本は自由貿易と平和なしに生存できません。核廃絶と9条は両輪です。一層の輝きを放っています。この優位性は、世界の先進国で我国だけです。日本の未来を、私たちはどう決め創るのでしょうか。世界は日本国憲法第9条を

目指すべきです。これは世界の人間的な希望であります。

最近、東芝に始まり、シャープ、三菱自、スズキと、立て続けに日本一流企業の経営がおかしくなっています。

トヨタも来年17年3月の決算見通しで連続

営業利益が衝撃的な4割減の1

兆2000億円になると発表しました。豊田社長は、為替で下駄をはいていたから16年の利益は追い風参考記録と割り切っています。

為替が支配

期は120円でしたが今期は105円の見通しの算出であります。

注目は同社長が記者会見で述べた「組織が拡大し、機能

異次元の金融緩和で引き出した円安は、賞味期限3年ペテソ師達のボーナスだったという事です。

ちなみに為替のベースは、前

世界の競争時代に危機意識の喪失、大企業の驕りはないでしょうか。為替は株価と同じです。

思惑、需給関係で動く。世界の機関投資家で日々動きます。

